



三
分
の
一
の
御
詠
草
紙
三
冊

安貞條公御詠草

10冊

特別
へ 2
4867
16



三ノ目... 御... 三ノ目

Handwritten text in cursive style, including characters like 山, 年, 御, 三.

Large area of faint, illegible handwritten text on the right page.

文
 元日
 春
 二月廿三日
 春
 光
 月
 日
 廿五日
 廟
 日
 廿五日



文
元日

徳
徳

春
 二月廿三日

光
 月
 日
 廿五日

廟
 日
 廿五日

春
 二月廿三日

徳
 徳

光
 月
 日
 廿五日

廟
 日
 廿五日

春
 二月廿三日

光
 月
 日
 廿五日

廟
 日
 廿五日

春
 二月廿三日

光
 月
 日
 廿五日

廟
 日
 廿五日

風二何薄

短人

さし出せぬの歌なるも薄

さされちいつて静風を吹

日共五日の日短短人

共何薄

るるの氣とるるの氣との

深なるもや春の位なる

三月廿二日の海原中島歌

るは花記 俄高座 之る

春のぬるるるを待たぬ風

春のぬるるるを待たぬ風

春の月

ぬるるるを待たぬ風

さし出せぬの歌なるも薄

さされちいつて静風を吹

日共五日の日短短人

共何薄

るるの氣とるるの氣との

深なるもや春の位なる

三月廿二日の海原中島歌

るは花記 俄高座 之る

春のぬるるるを待たぬ風

三月廿五日 懐紙 三首

共何薄

るるの氣とるるの氣との

深なるもや春の位なる

三月廿二日の海原中島歌

るは花記 俄高座 之る

五月

初日 本町 丸月 本町 本町
本町 本町 本町 本町

海村煙

あすの 海村煙

とくとく 海村煙

五月廿九日 本町 本町

本町

本町

あすの 海村煙

あすの 海村煙

本町

あすの 海村煙

あすの 海村煙

本町

あすの 海村煙

あすの 海村煙

本町

あすの 海村煙

本町

あすの 海村煙

あすの 海村煙

あすの 海村煙

あすの 海村煙

きつて十方共と云ふは
一かむ昔のくろくたふりてれ
ゆふじにきこ

昔経義也と云ふは
ふかきれれ五と云ふは

ゆふじにきこ
ゆふじにきこ

ゆふじにきこ
ゆふじにきこ

三つに日かある事
御高麗三書

文禄五年

元日

君は明使の来りしを
まことみまじきこと
なり

山崎の居る所
廣深山 十九日

年々も花の如くは
山崎の如くは
立寄る十九日

早考より十日

初考より十日

三月三日の如くは
御事なり

子日多公日

あまふまふ 七日

宵 七九日 倉庫 兼日

行止

まをの吹はまらむは作し
そをちやらまら 節の折る

口高屋ニ音

也 旗

吹るまをの吹るまをの吹る
折れつゆはれ 他の旗も

は 節

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

まをの吹はまらむは作し
まをの吹はまらむは作し

あるある也

きのうの夕暮れにふたつあつた
まじしたのりしつらつら

寄藤原

下りてこれ頃より藤原の年

公方より藤原は不~~...~~廿二日母天

竹裏書

長年のことより志けく世にやま

まやむれれらぬのいふ

白ふより月次しむ二首廿四

南く志ししうこ志なきうり

石ぬれそめふれりきり

林虎無名もむしんれえいそまき

のうらむれえのうらむ

か林市世野世痛は利世廿四

水世三首

山さきよりほいふとひひ

あしはつらぬのうらむ

近意

花世もよるそめりそ

のうらむのうらむ

地意

うらむのうらむ

か地園世しうらむり

三首
三首
三首

庭に花を多く植ふる
少くは世に人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

新耕 日ある言

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花の本意

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

花を多くして人々を悦ばせしむる事と
多しは形を多くし人の心を悦ばせしむる事と

別紙

おしよるなうはうの別紙と
きくつてまゝにたか

語止

野の名なきと考あまれま枕

おれ若れあめいまゝ

眺

いまこれるるあまれま

ついでにいふにまゝ

